



持続的成長に向けて

ローム株式会社

証券コード (6963)

2019年7月4日

広報IR室

野里 浩平

1. ROHMの会社概要
2. ROHMの成長戦略
3. ROHMの社会貢献活動
4. ROHMの業績動向ほか

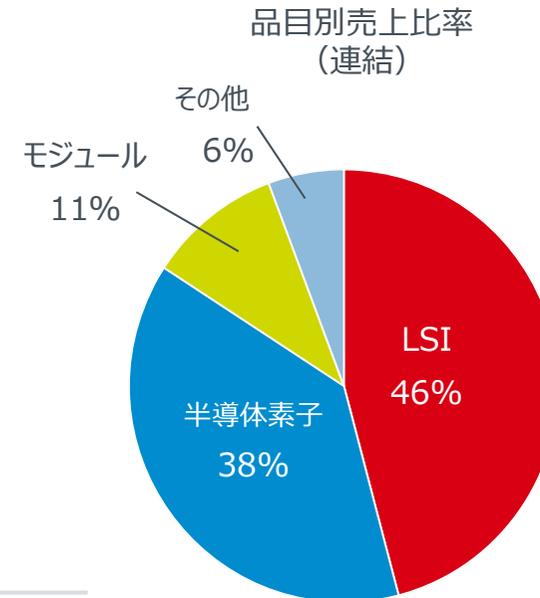
1. ROHMの会社概要

企業目的

われわれは、つねに品質を第一とする。

いかなる困難があろうとも、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、
文化の進歩向上に貢献することを目的とする。

設立年月日	1958年9月17日
資本金	86,969百万円
代表者	代表取締役社長 / 藤原忠信
売上高	398,989百万円
総資産	874,427百万円 (自己資本比率 87.7%)
従業員数	22,899人
主要グループ会社	国内：10社 海外：34社



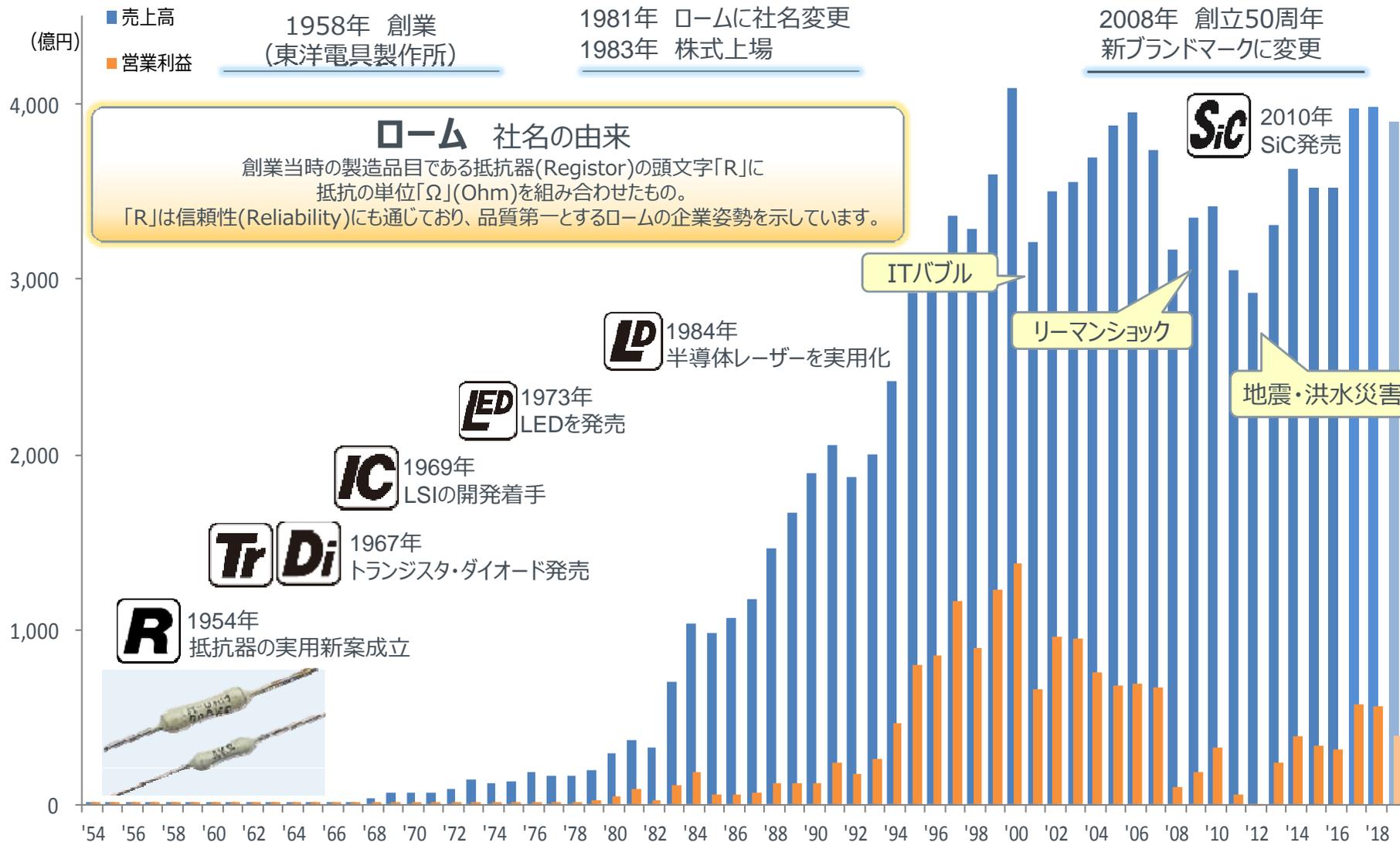
ロームのあゆみ



1958年 創業
(東洋電具製作所)

1981年 ロームに社名変更
1983年 株式上場

2008年 創立50周年
新ブランドマークに変更



幅広い製品ラインアップ



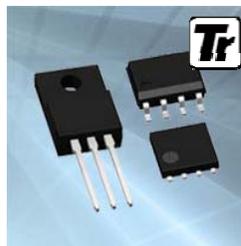
抵抗



タンタル
コンデンサ



トランジスタ



ダイオード



半導体
レーザー



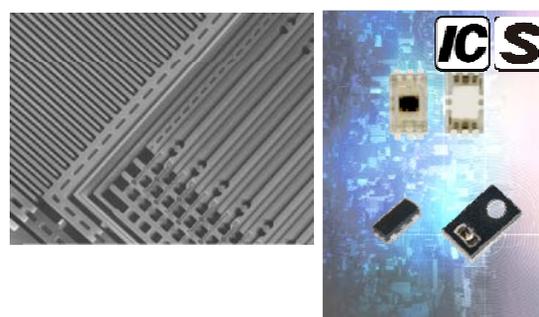
LED



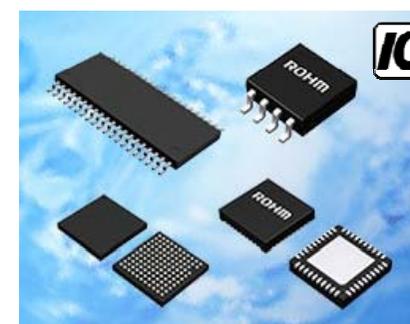
パワー半導体



センサラインアップ



LSI



品質を作りこむ ～垂直統合型ビジネスモデル～

- **品質** : 徹底したトレーサビリティ (追跡可能性)
- **納期対応** : 安心の長期安定供給を約束
- **カスタマイズ** : ウェハからパッケージまでお客様のニーズに応える

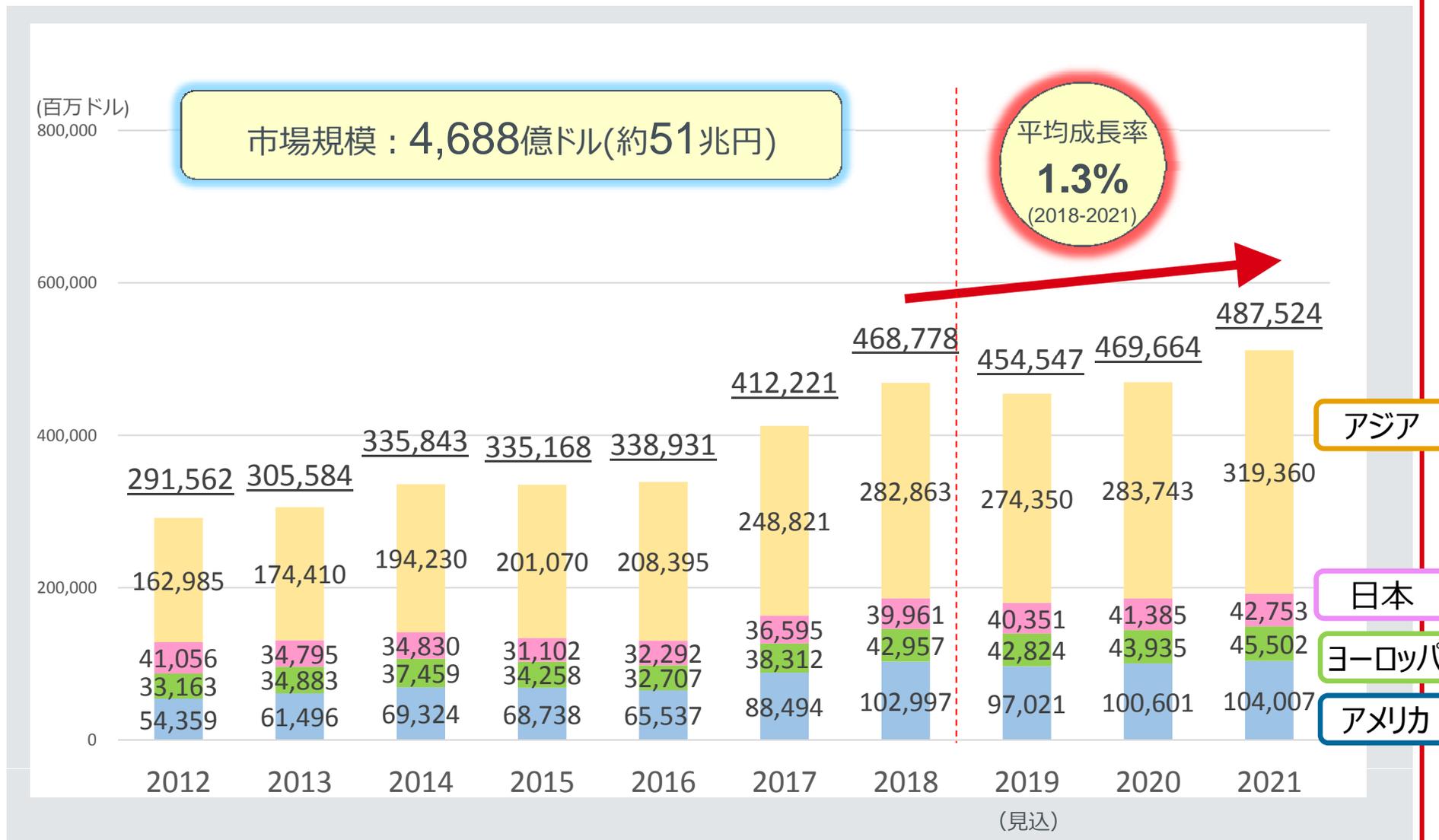


2. ロームの成長戦略

成長が見込まれる半導体市場



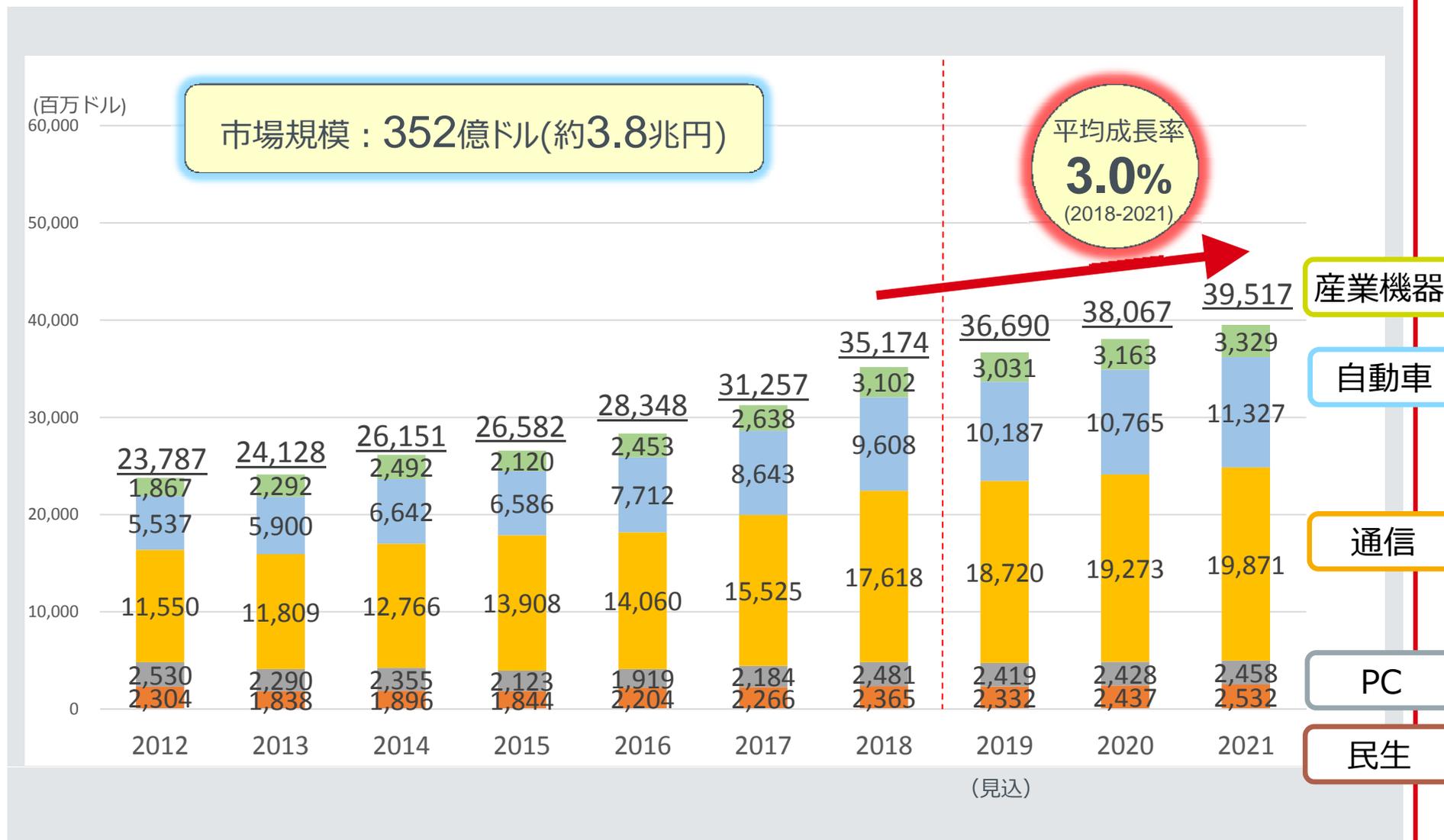
【世界の地域別半導体市場予測】



ロームが得意とするアナログ半導体



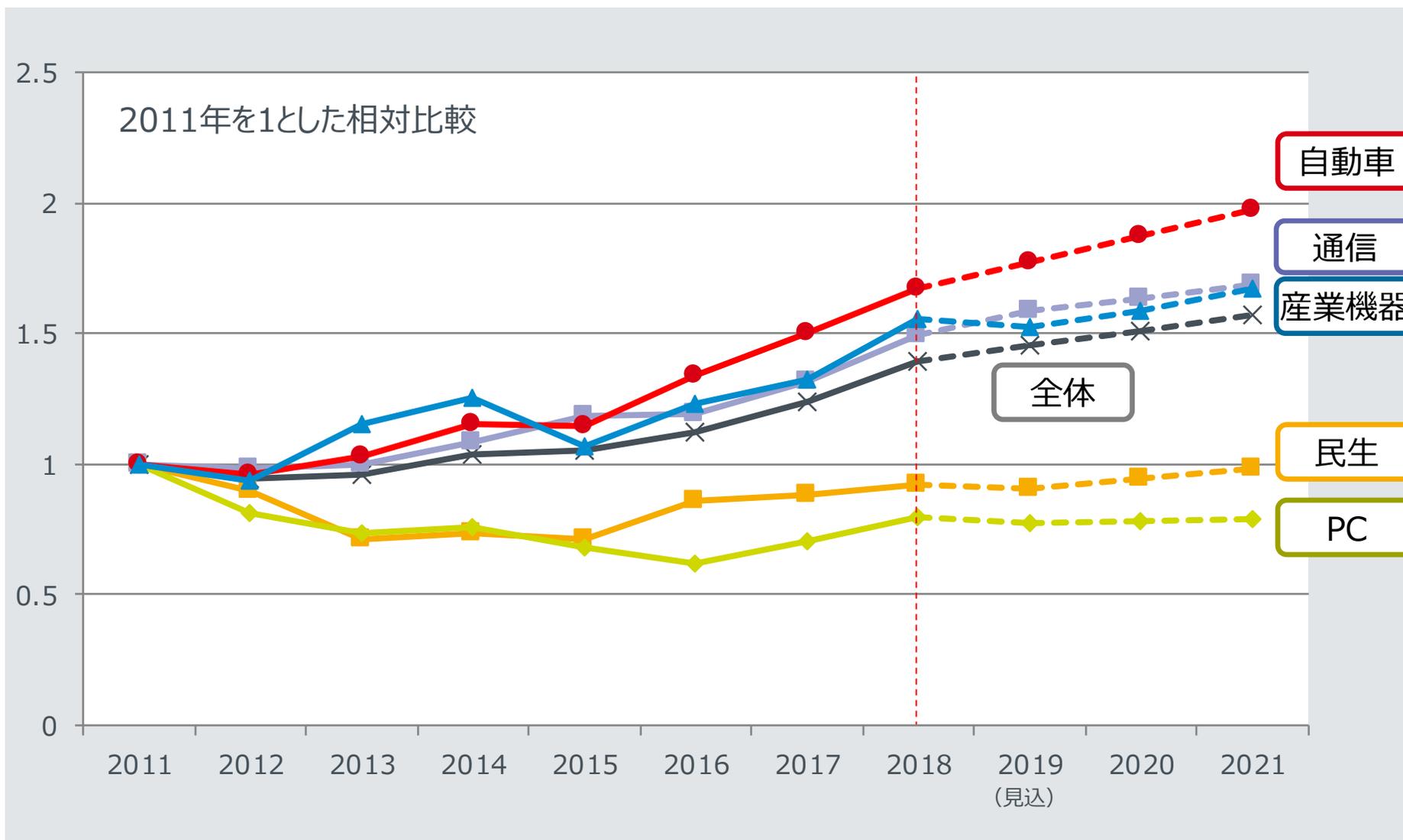
【世界の市場別アナログ半導体市場予測】



ロームが得意とするアナログ半導体



【世界の市場別アナログ半導体市場予測】



注力市場

車載市場

産機市場

海外市場

注力商品

パワー

SiC / ゲートドライバ / IPM

アナログ

電源IC / ドライバIC

スタンダードプロダクツ

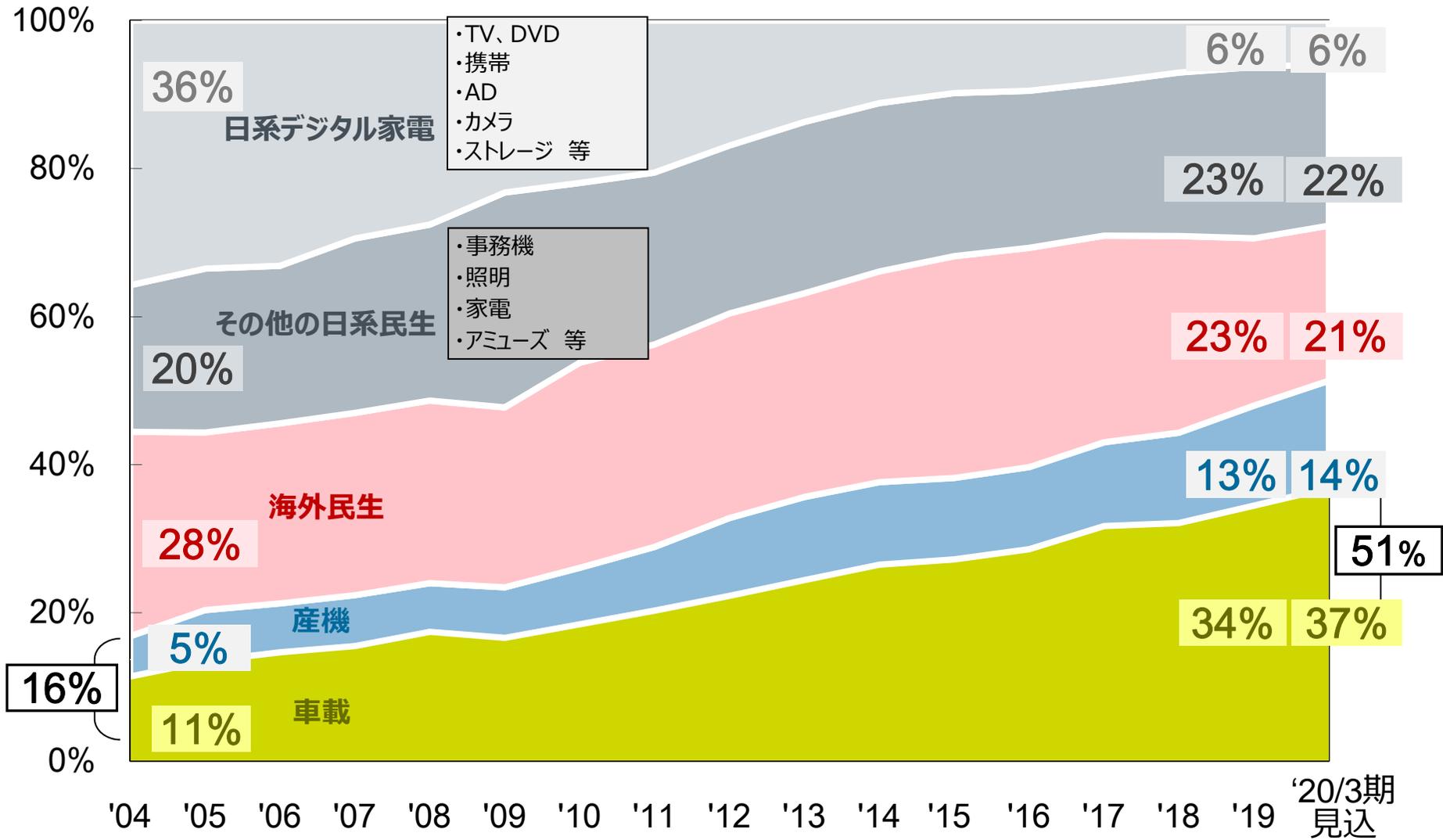
汎用IC / ディスクリート

ものづくりの強化

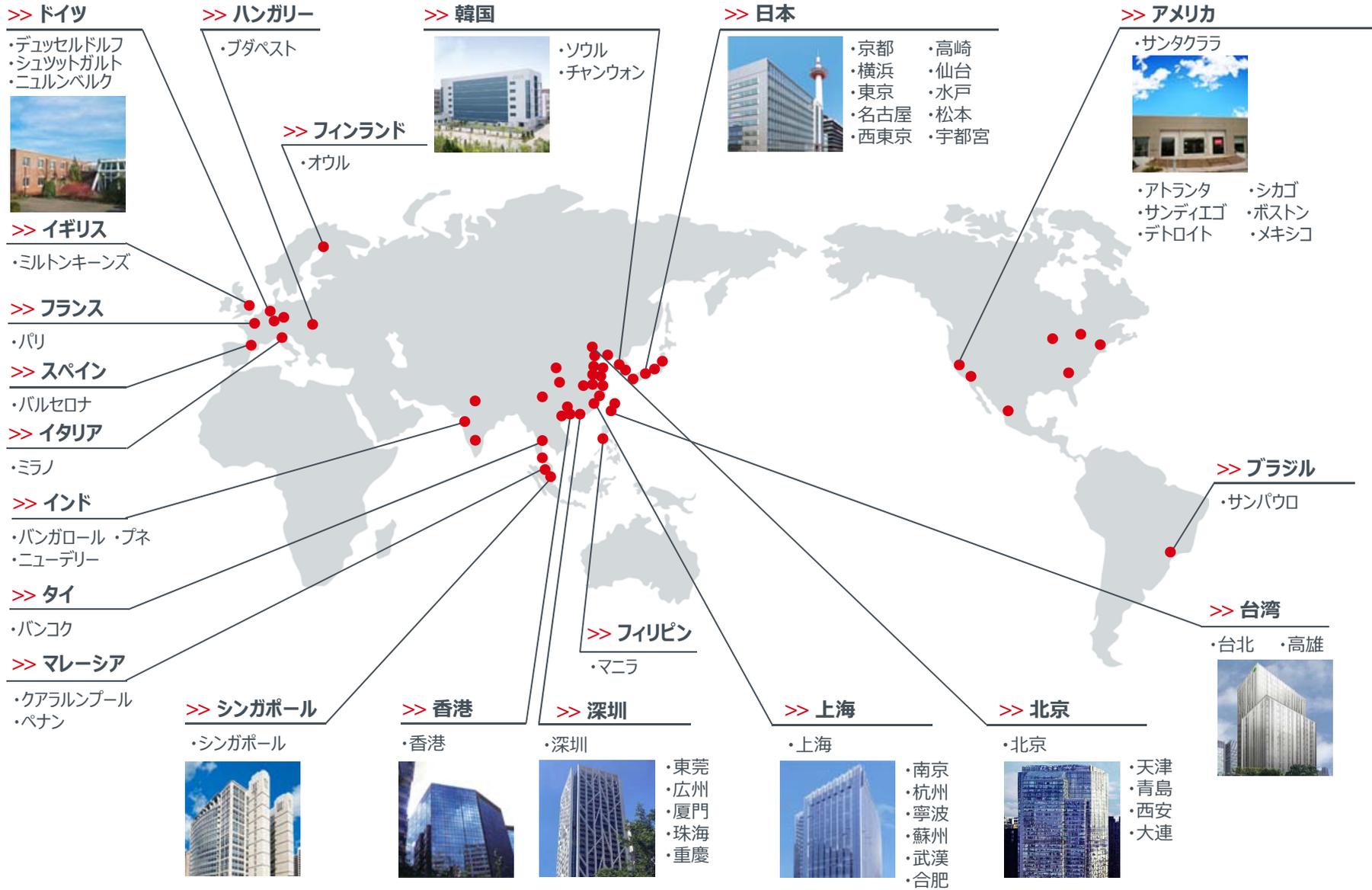
長期安定供給と需要変動に対応可能な生産体制を目指す。

ロームの市場別売上推移

注力市場



海外販売ネットワーク



QAセンター

お客様のあらゆる品質の課題やご要求を現場により近い拠点で、QAエンジニアが早期密着対応を行っています。



分析センター（京都本社）

最新鋭の分析・解析装置を駆使し品質・信頼性の保証のために、日々研究・開発・評価に取り組んでいます。

**国際試験所認定規格
【ISO/IEC17025】を取得**

「対象試験」

「高周波プラズマ発光分光分析法(ICP-AES)」

「蛍光X線分析法(XRF)」



ロームが注力する3つの商品群

注力商品



パワー

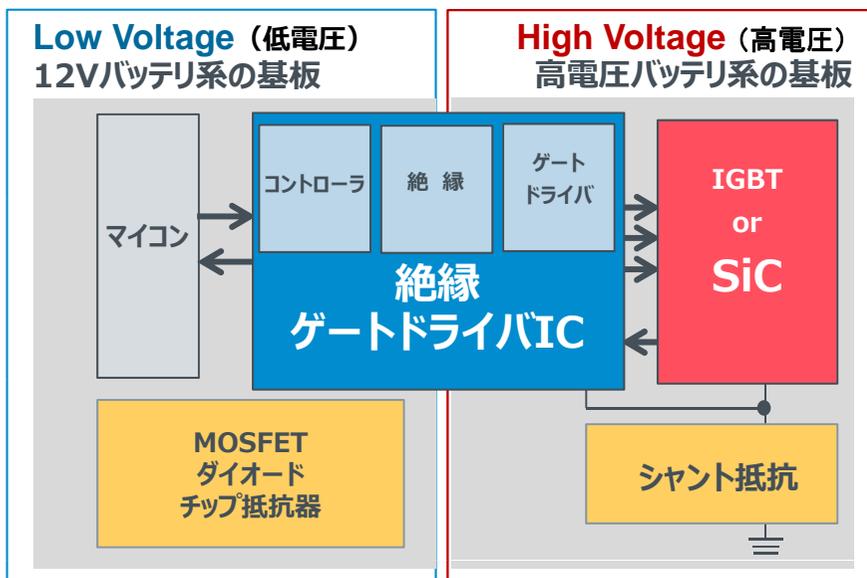
アナログ

スタンダード
プロダクツ



世界をリードする 次世代パワー半導体SiCによる パワーソリューションの採用が 広がっています。

代表的なパワーソリューション



コンバータ

EV系オンボードチャージャー
EV系オフボードチャージャー
(電気自動車充電システム)



ソーラーパネル



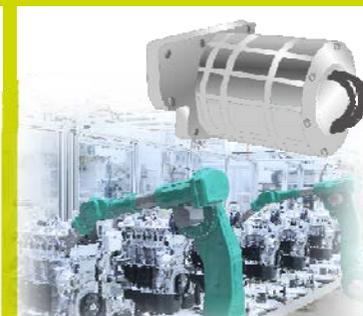
データセンター用
電源



インバータ



EV用主機インバータ



産業機器用大型モータ

フォーミュラE チーム「Venturi」のテクノロジーパートナーとして技術サポート



Season 2
従来型インバータ

(重量 : 15kg)



Season 5
フルSiC 搭載インバータ

(重量 : 9kg)

重量
6kg down

体積
43% down

ロームのフルSiCパワーモジュールと絶縁ゲートドライバがEVインバータの小型化、軽量化に大きく貢献

電源コア技術 Nanoシリーズ

ナノパルスコントロール Nano Pulse Control®

世界最速

超高速パルス制御技術

世界最速9nsスイッチングを実現
60V電源を一気に2.5Vへ降圧可能

一般の構成



新製品の構成



マイルドハイブリット車の電源基板小型化に貢献

ナノエナジー Nano Energy®

世界最小

超低消費電流技術

世界最小消費電流180nAを実現
「コイン電池で10年駆動」を実現



ウェアラブルやIoTセンサの長期使用が可能

高ノイズ耐量 オペアンプ

※オペアンプ(Op Amp):電流を増幅する半導体デバイス

世界初

ノイズ設計を不要にするオペアンプ
全周波数帯域の電圧変動で
±1%以下を達成。

回路、レイアウト、プロセスの
すべてを根本から見直し、
高EMC（電磁両立性）耐量を実現
世界一強いオペアンプが
車載や産業機器における
ノイズ設計を不要に。



電源制御IC

リファレンス

インテル社

NXP社

ルネサス社

CPUプラットフォーム向け
高機能複合電源を提供



車載・産機向け

長期安定供給をお約束します。

世界No.1シェア

小信号

トランジスタ

ダイオード

汎用IC

リセット

オペアンプ

LDO

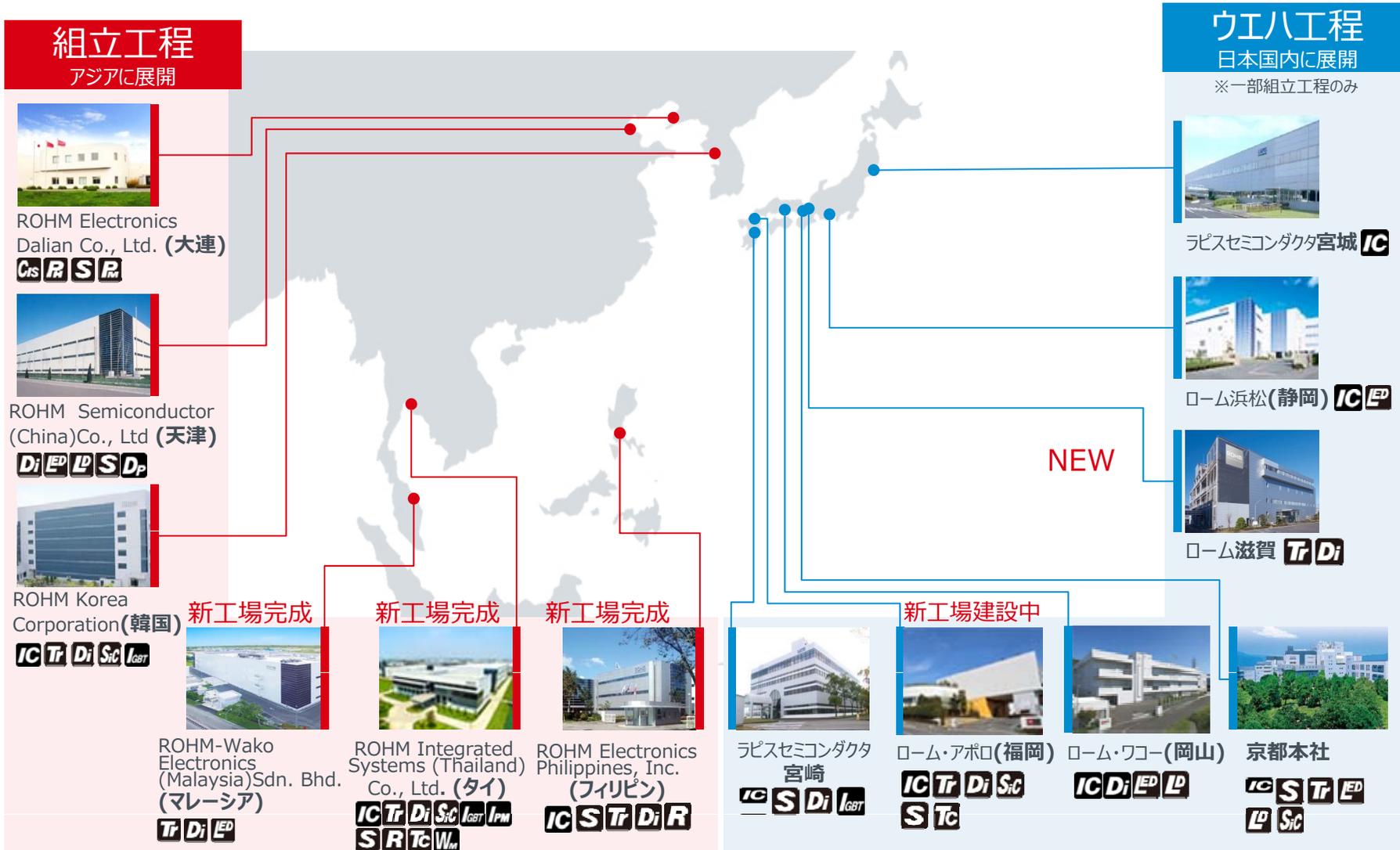
EEPROM

※LDO(Low Drop Out):出力電圧や電流を安定させる半導体の一種

※EEPROM:メモリーICの一種

最新工場も続々と立上げ、市場要求に対応

ウエハ工程	組立工程		
<p>ローム滋賀</p> <p>2016年9月稼動</p>  <p>買収 Tr Di</p>	<p>RIST(タイ)</p> <p>2016年5月稼動</p>  <p>新棟増産 IC</p>	<p>RWEM(マレーシア)</p> <p>2017年4月稼動</p>  <p>新棟増産 Di</p>	<p>REPI(フィリピン)</p> <p>2019年6月稼動</p>  <p>新棟増産 R</p>



自然災害「地震、台風」に強いBCM体制、長期安定供給を実現

ロームのBCM体制

リスク管理・BCM委員会を組織

リスク抽出・分析・統括管理

BIA (Business Impact Analysis)

リスク分析 → リスク検証 → 対策実施

工場毎にリスク検証

RIST(後工程)の例

リスク項目	過去の被害状況と事例	発生頻度 (A)				停止期間 (B)				総合判定	対策内容 / 対策不要理由
		1年	2年	1年	2年	1-7日	1-7日	8日	8日		
地震	パナソニックでのリスク発生は未発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	パナソニックでの地震発生は無い。対策は未実施であるが、工場への被害の発生を抑制し、被害発生による生産停止を最小限に抑えるため、対策を実施する。
台風	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
洪水	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
豪雨	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
霧・黄砂・大雪	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
津波	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
落雷	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
火災・爆発	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
霧・黄砂・大雪	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
政治不安	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
インフラ問題	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。
その他	過去に被害発生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	過去に被害発生しているため、対策を実施する。

全工場のリスクチェック

工場	生産品目	停止リスクワースト 1	停止日数	停止リスクワースト 2	停止日数
RIST (34)	R/TRQ/TCLSI	洪水	7日	国の行事による休日	7日
REPI (マイピン)	TR-DI/LLSI	台風	2日	-	-

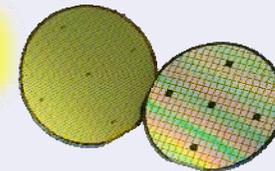
進める協業

材料メーカ

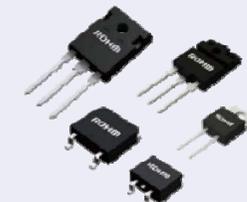
- ・主料長期納入契約
- ・リードタイム情報共有



ファウンドリーメーカ



OSATメーカ



ハード面での主な打ち手

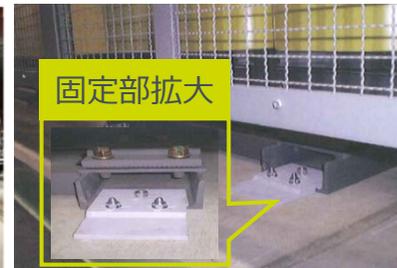
1階床嵩上げ(マレーシア工場)



免震構造(浜松工場)



設備固定補強(各工場)



品質・環境への取組みに高い評価をいただいています

ものづくりの強化



トヨタ自動車様



デルファイ様



ボッシュ様



モトローラ様



ソニー様



パナソニック様



東芝様



富士通テン様



インターメック様



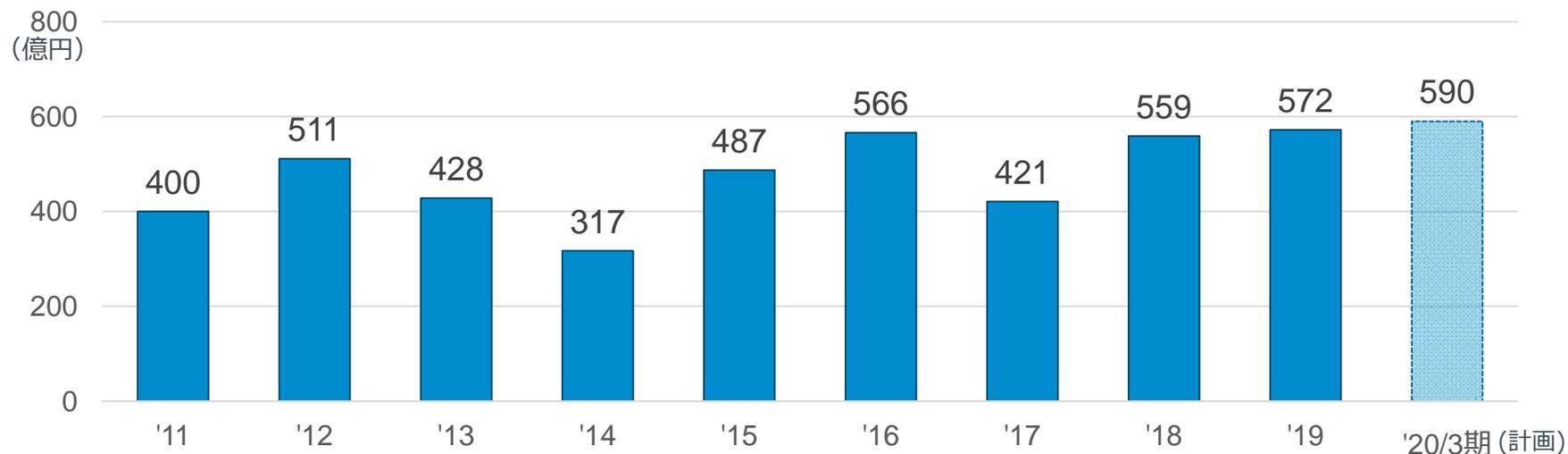
ゼブラ様



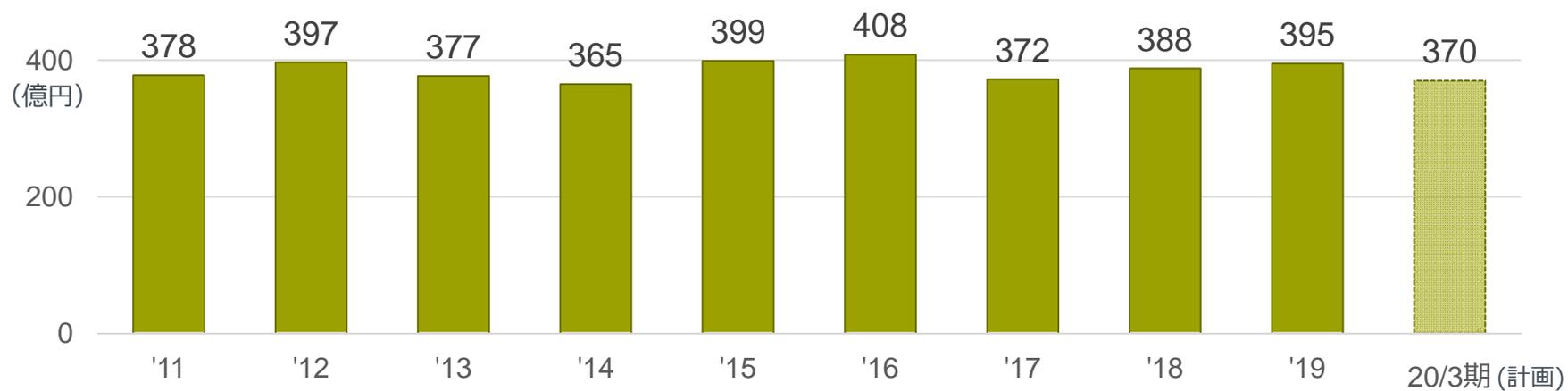
富士通様

設備投資・研究開発費の推移

1. 設備投資額の推移



2. 研究開発費の推移

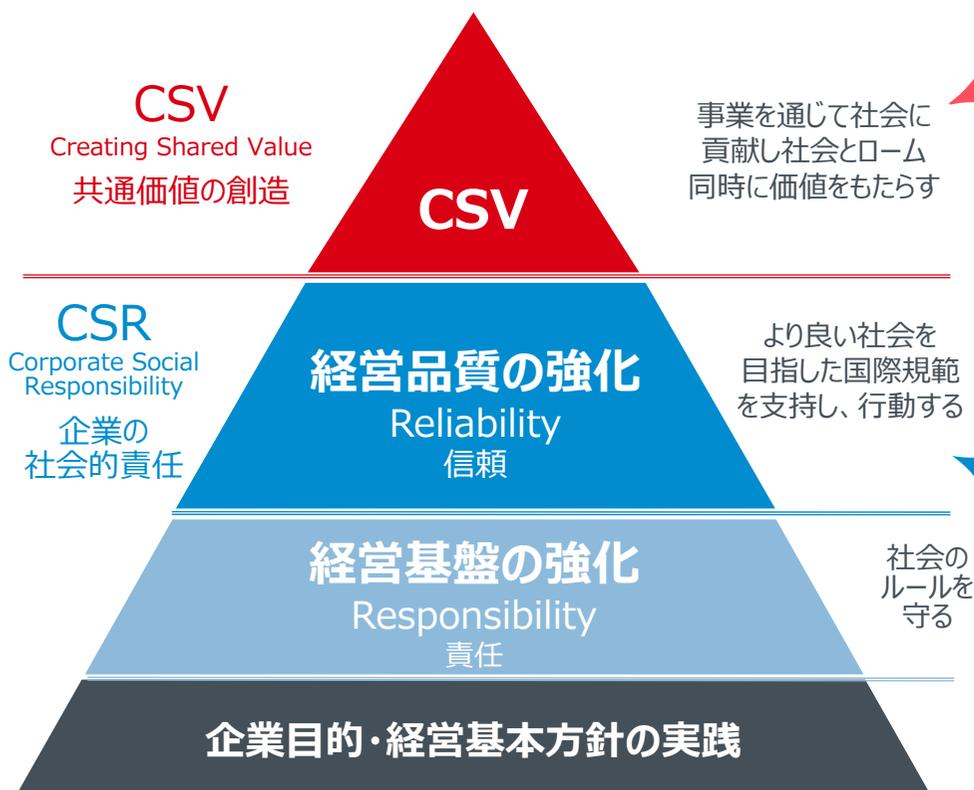


3. ロームの社会貢献活動

社会への責任と商品による貢献



企業目的・経営基本方針を実践し、
CSRへの国際的期待に応え、
CSV(Creating Shared Value)を
生み出しています。



事業を通じて社会に
貢献し社会とローム
同時に価値をもたらす

より良い社会を
目指した国際規範
を支持し、行動する

社会の
ルールを
守る

SDGs(社会課題)の
解決

企業価値の
向上

CSV

文化の
進歩向上
に貢献

良い商品を
国の内外へ
永続かつ大量に
供給

環境
世界最小デバイス
RASMID® シリーズ

省エネ
SiCパワーデバイス

安全
LCDチップセット

国連グローバルコンパクト
2011年5月加盟

10原則	人権	環境	支持
	労働	腐敗防止	

RBA行動規範
Responsible
Business
Alliance
(旧EICC)

遵守

コンフリクト・フリー
(紛争鉱物不使用)

推進

◎生産拠点の多拠点化 ◎リードタイムの短縮・適正在庫

SRI（社会的責任投資）、ESG投資への対応



SRIインデックスへの採用



FTSE4Good



ISO26000

ロームは、国際規格である「ISO26000」が定める7つの中核主題ごとに、活動を検証し、課題解決に取り組んでいます。

革新的な商品の供給を通じて、社会のイノベーションに貢献します。

環境・
省資源

省エネ

安全

企業市民としての社会貢献活動（音楽文化支援活動）



(財)ローム ミュージック ファンデーション

1991年に設立された公益財団法人

ロームミュージックファンデーションとともに継続的な音楽文化

支援活動に取り組んでいます。

ロームシアター京都

2016年、京都の文化発信地域・岡崎に

約2,000席の規模を持つ「ロームシアター

京都」が誕生

奨学支援



撮影：佐々木 卓男

小澤征爾音楽塾



撮影：大窪 道治

国際音楽学フェスティバル



撮影：佐々木 卓男

音楽セミナー



撮影：佐々木 卓男



メインホール

撮影：小川重雄

企業市民としての社会貢献活動（グローバル展開）



世界のロームグループ従業員が様々な社会貢献を行っています。

＜子供達への環境安全学習＞



＜植林活動＞



＜交通安全活動＞



＜海岸での清掃活動＞



4. ロームの業績動向ほか

2020年3月期 通期計画 (2019年5月8日時点)



(単位：億円)

	'19/3期 実績		'20/3期 計画		
	金額	前年比	金額	増減額	前年比
売上高	3,989	+1%	3,900	▲89	▲8%
営業利益	559	▲2%	390	▲169	▲45%
(対売上比率)	(14.0%)	-	(10.0%)	-	-
経常利益	646	+19%	420	▲226	▲54%
(対売上比率)	(16.2%)	-	(10.8%)	-	-
純利益	454	+22%	310	▲144	▲50%
(対売上比率)	(11.4%)	-	(7.9%)	-	-
EBITDA	1,013	+1%	866	▲147	▲15%
(対売上比率)	(25.4%)	-	(22.2%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (110.69円)

想定レート:(105円)

株主還元の推移

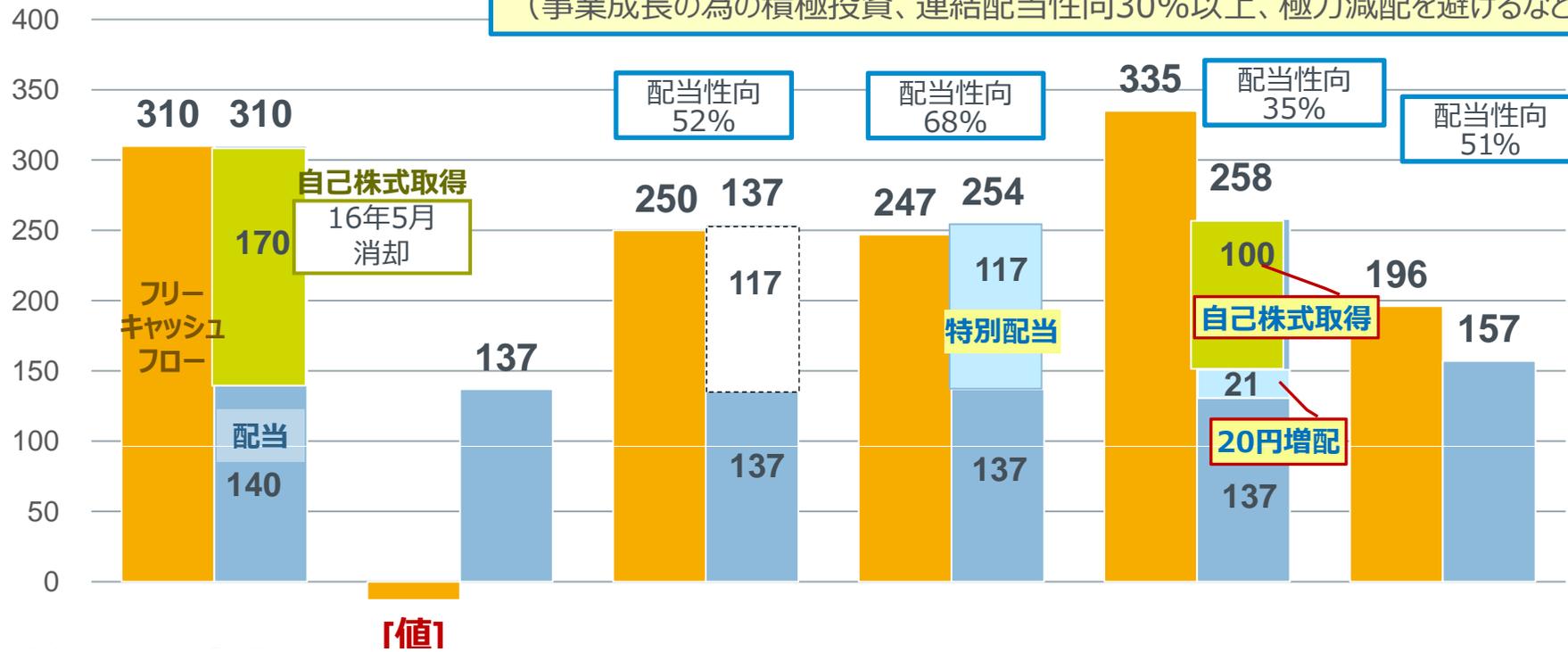


株主還元の総額

- ① 今後の政策保有株の縮減
 - ② 現在の株式市場の動向
 - ③ 中長期業績見通し
- 上記を総合的に考慮し、自社株買いを実施。

従来からの財務政策、株主還元策については、変更なし
 (事業成長の為の積極投資、連結配当性向30%以上、極力減配を避けるなど)

(億円)



1株当たりの配当金



株価の推移



株価関連指標

株価	7,240円
PER (株価収益率)	24.4倍
PBR (株価純資産倍率)	1.0倍

(2019年6月28日現在)

株価推移



お問合せ先、注意事項など



■ ローム ウェブサイト

<https://www.rohm.co.jp>



■ ローム IR情報ウェブサイト

<https://www.rohm.co.jp/investor-relations>



■ 電話でのお問合せ

広報IR室 (075)-311-2121 (代表)

The screenshot shows the ROHM investor relations website. The top navigation bar includes links for '製品情報', '技術サポート', 'アプリケーション', '拠点情報', and '購入 / サンプル'. The main content area is titled '投資家情報' and features a '更新情報' (Update Information) section with a list of recent news items, such as '2019年05月31日 第61期定時株主総会招集ご通知を掲載しました。' and '2019年05月09日 2019年3月期決算説明会資料を掲載しました。'. On the right side, there are sections for 'トップメッセージ' (Top Message) and '株価情報' (Share Price Information). At the bottom, there are three tabs: '業績の概要' (Summary of Performance), 'IRライブラリ' (IR Library), and '株式情報' (Share Information).

【将来事象に関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が、現在あるいは計画値を作成した時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

ご清聴ありがとうございました。



